

土地開発公社問題
特別委員会設置

議会改革
特別委員会設置

みぞぐちとし

年明けから課題山積



第二回土地開発公社問題特別委員会
説明する副市長の右、総理事長

2012年は日田市にとつても、市議会にとつても大変な年、「超」大忙しの一年になりそうです。
まず頭を過るのが、土地開発公社の問題です。高度成長期をすぎ、段々と土地開発公社の役割がなくなると共に、多くの自治体で開発公社の解散や解散に向けての検討が行われています。市でも、解散に向けての

検討を始めていますが、それを急ぐのは国からの交付金措置による解散するのに有利な「第三セクター債」の認定機関が平成25年度末までに迫り、解散するから今の内という思いがあるからです。
しかしここで問題になっているのが、ウッドコンビナートの支払い猶予の問題です。特に猶予期間における9億1千万円の金額をどう整理するのかによつて開発公社の解散問題が左右されます。
議会は特別委員会でその事を論議していきませんが当初から難問を抱えている状況です。
また、先日新聞でも報道されましたが、葬祭場の「指定管理者」を巡る問題では、議員自らが身を正すことが求めらる課題がしめされました。
さらには、以前から



市議会主催による 市政報告会を試行的に実施します

「議会改革特別委員会」の設置が決まったの併せ、3月定例会終了後全議員が4班に分かれ、4月から5月にかけて中学校区12カ所で報告会を実施するが了承されました。
各班6名体制で時間は90分を目途。主には3月議会の結果報告となります。
詳しくは、後日市報に「お知らせ」等を入れ周知することになりますが、その折にはお誘い合わせのうえぜひご参加下さい。

云われていた「議会改革」についてです。
22日の議事運営委員会で8名による特別委員会の設置が決まり、今後その委員会を中心に論議が重ねられ最終的には、「議会基本条例の制定」することを目指しますが、議員各員色々な考えがありこれらをまとめ上げるにはかなりの努力を要すると考えています。
この両特別委員会に、私はオブザーバーとして加わっていますので意見を闘わせたいと決意しています。

「議会改革に望む私の態度は、まず議員自らが「政策立案」能力を高めることとしてそのことを保証するシステムを作ること
また、地方自治の基本となる各自治会等が、地域の課題等を各地域自ら解決するための行政システムの改革と考えています。
今回の視察で多くのヒントを得ました。来年度は得たヒントを基に行政や議会改革に臨みます。

「議会基本条例」を制定するなど議会改革がもっと進んだ自治体を云われ、設定に至る過程や条例の内容について協議し学ぶためです。

プラスワン

2月1〜3日間
議事運営委員会で
三重県の松阪市、
亀山市、伊賀市に
「議会改革」と
「事業仕分け」を
目的に視察に行きました。この三市は全国に先駆け、「議会基本条例」を制定するなど議

一般会計総額

23年度比 0.04%増
381億1千252万3千円

24年度予算示される

原田新市長による初めての予算案が23年度とほぼ同額で3月定例会で提案され、議会で論議されます。「変革への環境づくりの取組」を掲げていますが、その内容がどのようなものか、大変注目しています。27日からの論議で明らかにしていきたい。

歳入の主なものは右の表のようになってい

ますが、市債の11.3%増が目を見まします。歳出は、議会費、総務費、民生費、農林水産業費、商工費など14款に分かれています。その主なものについては下表のとおりです。人件費については60億5千万弱で、全体の16%弱ですが、24年度は退職手当の増が見込まれ23年度より増になっています。

歳入(主なもの)	
市税	74億500万円 (23年度比1.5%1億1千200万円の減)
市民税	税制改革(16歳未満の年少扶養控除の廃止)による個人市民税所得割が4.3%の増
法人市民税	景気低迷の影響で企業の収益が減少のため21.4%の減少
個人、法人市民税総額	0.4%の減 26億5千万円
固定資産税	土地の地価の下落と評価替により2.9%の減 36億4千万円
地方交付税(国からのお金)	昨年と同額を見込み 136億4000万円
国庫支出金	52億2700万円 市営住宅整備、道路改良の社会資本整備総合交付金や学校施設整備に対する国庫負担金の増で5.5%、2億7000万円の増
市債(市の新たな借金)	44億3800万円 23年度比11.3%、4億5000万円の増
なお、財源が不足のため、財政調整基金から4億3千万円繰入るようにしています。	

歳出	5. 農林水産業費	18億134万円	
1. 議会費	3億920万円	鳥獣被害防止対策の継続や日田材需要拡大対策費を増額であるが農業用施設整備事業費の減で6.2%の減	
2. 民生費	110億1051万円	6. 商工費	19億7786万円
3. 衛生費	26億2072万円	7. 土木費	46億2911万円
4. 労働費	1億1193万円	8. 教育費	48億6172万円
		9. 公債費(借金の返済)	50億6452万円
			償還計画に基づき1.2%の減等々になっています。

各施策ごとの 予算案の特徴

は新規、24年度の市の主要事業
 事業に上り、併せ17年度中
 心に特徴的な事業につき、各
 紹介します。いざ、その可
 任委員会審議され、その可
 否が決定されます。これを中
 年度の市政がこれらを中心
 に展開されることになると考
 えています。

都会の人が集落維持のために頑
 張る仕組みをつくる「地域おこし
 活動推進事業」

予算額 286万円

コンビニでも市税が納付できる
 ようになる「市税納付環境整備事
 業」

予算額 233万円

ソーシャルビジネス創出講座を
 定期的開催し、人材を育成する
 「志民人材創出事業」

予算額 292万円

働ける生活保護受給者の自立
 を支援するための就労支援員を
 確保する「生活保護受給者就労
 支援事業」

予算額 197万円

災害発生時に要援護者を迅速
 に救助、支援活動に活用する
 「高齢者見守り支援事業」

予算額 286万円

任意接種の水痘、おたふくか
 ぜの予防接種費用の助成をする
 「水痘おたふくワクチン接種事
 業」

予算額 1076万円

新規にコンニャク生産をはじ
 める組織の機器導入を支援する
 「企業等農業参入推進事業」

1. 市民参加の開かれた市政の実現

様々な市民の意見を「まちづくり」に反映さ
 せるための「いっしょに考えん会」の開催
 市民活動支援室の改組、強化
 人材育成やその組織化、市民の自主的な取組
 への積極的支援

2. 将来を見据えた行財政改革の推進

事務事業の見直し、民間活力の導入、総人件
 費の削減と併せ市職員の意識改革
 市民サービス向上に向けての行政改革大綱の
 策定
 土地開発公社についての抜本的な対策

3. 人がいきいきと輝く日田の創造

日田の誇る歴史、自然、文化、地場産業、産
 物などの地域資源の活用をまちづくりに結び
 つける
 地場産品のブランド確立と民間の取組を支援
 のため、「ひたブランド推進課」の設置
 屋形船の計画的なりニューアルに対する助成

4. 安心して暮らせる日田づくり

防災士の育成、自主防災組織の活動支援
 災害弱者支援のための要援護者支援システム
 子ども医療費の助成の拡大

5. 水郷ひたの水と森づくり

河川の水量増加や水質の向上に取組む
 循環型社会構築のためバイオマス資源の有効
 利活用の検討

予算額 296万円

木材のパークや端材などの木
 質バイオマス資源の利用促進の
 ための施設整備の支援や先進地
 を視察に行く「木質バイオマス
 資源利用促進事業」

予算額 525万円

たけのこ生産をうながす「優
 良竹林整備事業」

予算額 491万円

若宮町の山鉾の新設に併せ電
 線の嵩上げを実施する「観光基
 盤整備事業」

予算額 1756万円

竹田公園を快適にリニューアル
 するための実施設計を行う

「竹田公園整備事業」

予算額 2572万円

災害時の応急対応に必要な生
 活必需品などを備蓄する「災害
 備蓄拠点整備事業」

予算額 4519万円

鵜飼い伝承に必要な道具類の
 新調に対し助成する「鵜飼い保
 存対策事業」

予算額 24万円

広瀬淡窓や旭荘等の日記を読
 みやすく翻訳し市民に興味や関
 心をうながす「淡窓及び成宜園
 の著述対策事業」

予算額 59万円

主要課題
 取り組みへの
 のの
 考え方

地域生活道路整備事業を活用し改善を行っています



銭淵橋付近を通行の方は既にお気づきと思いますが、側溝の整備がなされています。ここに写っている道路整備は、主には側溝の整備とそれに蓋を被せるものですが、これらは市土木の「生活道路整備事業」の予算を活用して実施しています。また、もう一つの交差点については、12月定例会で質問した交通不安箇所に対して交差点表記のマークと前方に「交差点あり」を表示することで事故防止を図るものです。



そうするゆへ、そうするゆへに、夫ひながら作りまひん

日田市に春の訪れを告げる恒例の「天領ひたおひなまつり」が、今年も盛況のようです。いつものことながら、豆田界限はごった返し、限界隈は閑散と言った状況が長年続いていきます。賑わう豆田の観光客を限界隈へも来てもらおうと今年には「林業ひた」のイメージを大きく打ち出し、伐採や製材の過程で発生する端材を活用したひな飾りを作りました。



ふんわりと可愛い

端材の上に緋毛氈を敷き、その上に全国から送られたお雛様を固く計画した個数が出来ませんでしたが、それでも多くの方から「とても可愛い」とか「もっと多く飾れば綺麗さが増すのに」等々の賞賛の声を聞いています。ぜひ隈に出掛けて見て下さい。意外な喜びに出会えると思います。来年はこの賞賛の声をバネにさらに喜ばれるおひな様作りにチャレンジします。



ひなまつり 天領ひたおひなまつり
